



自衛隊栃木地方協力本部

「凜とした心」を育む



基本動作の練習風景



各班の班長を務める自衛官の紹介「気を付け！」

自衛隊栃木地方協力本部宇都宮募集案内所（所長 本郷3海佐）は、8月29日（金）宇都宮短期大学 附属高校において「スマートハート」を実施した。スマートハートとは、派遣型の職場体験学習の一貫で、主に高校3年生に対し自衛隊の基本動作や発声方法、社会人としての礼儀作法を身に付け「凜とした心を育む」をテーマに、平成25年から希望する高校で行われている。

学校の要望である、生徒の自己潜在能力を発掘させるため自衛隊のノウハウを生かした体験型プログラムへの期待を受け、コミュニケーション能力向上施策を支援することを通して、学校との信頼関係構築と自衛隊の周知及び志願意欲を高めることを目的としている。

調理科、生活教養科、情報商業科の参加者93名が9班に分かれ、担当自衛官と基本教練、発声練習、面接練習を行い、最後に自衛官が面接実習（良い例・悪い例）を披露し、笑いで賑やかな授業となった。今回、栃木本地に臨時勤務している江部海士長も支援に参加し、自衛隊での訓練・日常生活の様子など沢山の質問を受けて真剣に話し合っていた。実習後、メリハリのあるきびきびとした動作が身についた生徒たちからは、生き生きとした表情が感じられた。また、面接での入室動作や自己紹介要領を学び「自信がついて堂々と発言できるようになった」と嬉しそうに話していた。参加した生徒には、自衛隊は、様々なスキルを持った人材を必要としている組織であることをアピールすることができた。宇都宮募集案内所は、「今後もこのような活動を通じて、自衛隊を将来の選択肢の一つとして認知してもらえようPRしていく」としている。



真剣な生徒たち



凜とした姿勢